

令和6年度 一般会計予算

令和6年度一般会計予算には、少子化問題等への課題対応の予算が盛り込まれました。

前年度とどこが変わった？

子育て・教育支援が充実！

子育て・教育支援関連予算

子ども医療費助成対象
を18歳まで拡大

2億6588万円

令和6年10月から医療費助成対象者の上限を現行の15歳から18歳に拡大します。



NEW
新規事業

ICTシステムで
安心安全な

保育環境を整備

3447万円

情報管理を一元化し保育士の業務負担軽減、保育士同士や園と保護者のコミュニケーションをスムーズに共有できる体制を構築します。

NEW
新規事業

受験生等の
インフルエンザ

予防接種費用助成

142万円

インフルエンザの流行期と重なる受験等の重要な時期を安心して過ごしてもらうため、予防接種費用の一部を助成します。

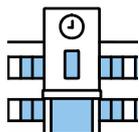


ここにも
注目!

小・中学校の施設整備

2億349万円

校舎照明のLED化工事、トイレの洋式化や遊具等の改修工事を行います。



外国語指導助手(ALT)を活用

1419万円

児童生徒の異文化理解・関心を高め、学習意欲の向上と英語でコミュニケーションしようとする人材を育成します。

NEW
新規事業

DX^(※1)・GX^(※2)が加速!

- ※1 DX(Digital Transformation)…デジタル技術の浸透が人々の生活をより良い方向に変化させること
- ※2 GX(Green Transformation)…化石燃料をできるだけ使わず、クリーンなエネルギーを活用していくための変革やその実現に向けた活動

公式LINEの機能を拡充

233万円

きめ細やかな情報発信と円滑な町ホームページへのアクセスでさまざまな情報が得られる環境を実現します。



ペットボトルの水平リサイクル

4484万円

町が回収したペットボトルは、選別・粉碎・洗浄等されペットボトル容器に再生されます。



粗大ごみのリユース促進

315万円

戸別回収した粗大ごみをフリマアプリで売却します。

ここにも
注目!

公共交通がもっと便利に!

東浦駅西側駅前広場の再整備

1億9194万円

一般車とバス停車場を分離し、車両集中による混雑解消と、より利用しやすい駅前空間の実現を目指します。

町運行バス「う・ら・ら」ダイヤ改正

1億4699万円

令和6年10月のダイヤ改正に合わせ、「名鉄異ヶ丘駅」「知北平和公園」への新規乗り入れ、バス停の増設、車両の変更が予定されています。



ここにも
注目!

施設整備を進めます!

勤労福祉会館管理運営費

9283万円

地区コミュニティセンター等施設整備費

6887万円

中央図書館運営管理費

1996万円

過去最大の

総額 181億6100万円の予算内訳は？

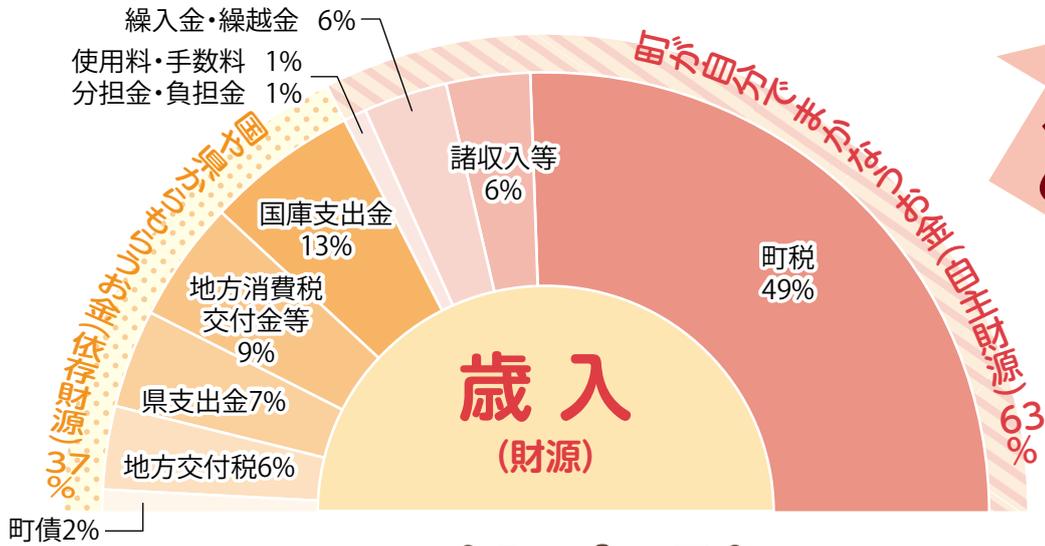
一般会計予算

3月定例会

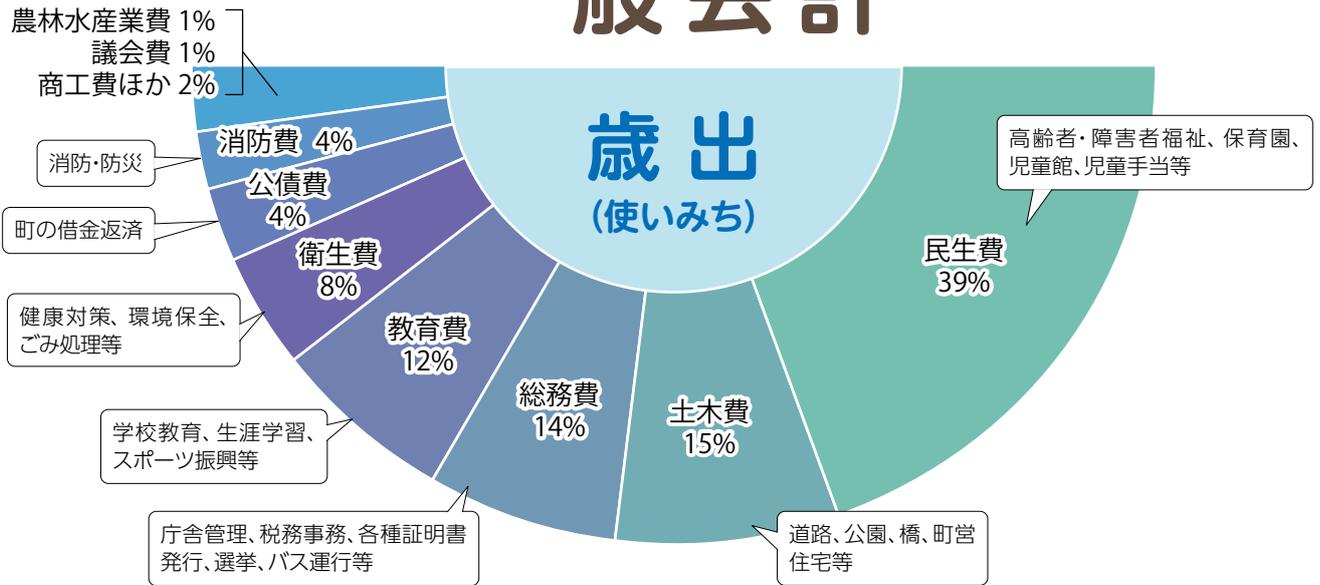
常任委員会

一般質問

政務活動費



一般会計



令和6年度 一般会計予算

町民1人あたり いくらになる？

1人あたり 362,047円の予算

※令和6年3月末人口50,162人から算出

民生費
141,671円



7,658円UP ↑

土木費
53,268円



8,553円UP ↑

総務費
51,995円



2,138円UP ↑

教育費
41,263円



442円UP ↑

衛生費
29,493円



640円UP ↑

公債費
15,086円



917円DOWN ↓

消防費
13,643円



228円UP ↑

農林水産業費
4,576円



479円UP ↑

議会費
2,593円



13円DOWN ↓

商工費ほか
8,459円



1,291円UP ↑

なぜ過去最大に？

前年度比

約10億円の 大幅増額の予算を解剖！

予算編成方針

公共施設の更新を見据え、事務事業の必要性を見直し、事務効率化等を検討し歳出を抑制、真に必要な分野に財源を重点的・効果的に配分。

事務事業の必要性の見直しと効率化の検討結果をどう反映させたか。

A 本予算では、住宅地図を紙面購入からWeb版に、フリマアプリで役場内の不用品や住民からの粗大ごみをリユース、町公式LINE機能拡充で職員の各種検診予約受付業務を行わない、効果検証の結果、害虫駆除補助金を見直し、スポーツ推進委員の貸与被服の更新期間を現状に合わせて延長する等反映させた。

Q 歳出増約10億円の財源調達は。

A 予算増のうち、7億5923万6千円は国や県からの補助金等、実質的な町の自主財源分の約2億4千万円は、町税の増収分約2億円等が主な財源となる。

保育情報管理をICT化

多様なニーズで保育士の負担は大きく離職率も高い。また、置き去り事故が発生する中、安全な保育環境も求められている。業務軽減と安全確保のためICTシステムを導入する。

Q なぜ保護者が最も望む保育士の増員でなく、ICT化なのか。

A 保育士配置も必要だが、業務負担軽減は、総合的に行うべきと考えられている。今回の導入は、現場の保育士等と検討を重ね計上したので、現場に必要なシステムと認識している。

Q 登降園の確認は現在の保育システムでカバーできないのか。

A 登降園管理はできない。新システムで安全な保育環境を整備する。

生きた英語教育を

Q 外国語指導助手派遣業務委託の内容は。

A 児童生徒に生きた英語に接する機会を提供する。外国語指導助手を小学校7校へ2人、1人当たり年間176日派遣する。中学校3校へは1人を年間170日派遣する予定。教員と協力しながら授業はもちろん、給食、掃除、放課の時間等、授業以外の学校生活でも、英語で日常的なコミュニケーションを行う。



Q これまでの事業との違いは。

A 外国語指導助手の派遣回数を増やし、オンライン国際交流を実施。

小中学校の施設整備

Q LED化計画に森岡小学校、東浦中学校が無い。目の健康を考え、教室・職員室を工事しては。

A 再配置計画案を考慮し、電気料金を試算したが、工事費用に対して十分な効果がなく実施しない。教室等の照度の確認は毎年している。

LINEがもっと利用しやすく

Q LINE機能拡充の概要は。

A よりきめ細やかな情報発信と住民がさまざまな情報を得られる体制を実現。

Q 導入スケジュールは。

A 10月から運用を開始したい。

Q 友だち登録者が6年2月末時点で1990人だが、目標は。

A 2万5千人を目指す。

LINE 機能	内容
セグメント配信	必要な情報のみ受け取れる
防災メール配信連携	LINE でも緊急情報を受信
フォロー機能	年齢等の入力で、その月齢に合わせた予防接種の案内や健診等案内を自動で配信する
予約機能	各種教室、窓口相談等の予約

▲導入予定の機能

ふるさと寄附事業

Q 5年度に比べて基金積立金、事業費とも縮小している理由は。

A ふるさと寄付金見込額は、5年度寄付実績見込額3億5千万円を基に算定。近年、自治体間の競争が過熱しているが、5年度と同額とすることで減少だけは食い止めたい。

Q 寄付金増額の新たな手立ては。

A 本町は家具等高額の返礼品が多く、これらと親和性のあるポータルサイトの追加を検討。また、全町職員が営業担当者の意識を持ち、町長は名刺に返礼品を印刷して紹介する等トップセールスに努めている。



於大公園施設整備工事

Q 6年度で第2駐車場が無くなるが、今までと完成後の収容台数は。

A 再整備前は、第1と第2駐車場ともに85台で合計170台。完成後は、第1とプール跡地駐車場を合わせて222台で、52台の増台。



▲於大公園駐車場

Q 6年度に完成する工事箇所や5年度末に完成するエリアを含めて、完成セレモニーを行う予定は。

A 5年度末に完成する遊具が、於大まつりの開催時期にオープンすることに先立ち、子どもたちによる滑り初めのプレオープンを考えている。また、6年度末完成予定のふれあいファミリー広場やおもしろサイクル広場等でも、リニューアルした於大公園の魅力をお知らせする企画を検討する。

東浦駅西側駅前広場再整備

Q 整備工事の内容は。

A 駅北側に5台程の一般車乗降スペースを設け、駅舎の前に町運行バ

ス（つ・ら・ら）バス停を設置。また、新駅前広場は広くなるため、福祉車両の乗降スペースも配置できる計画。既存駐輪場の一部は、新駅前広場南側の購入した用地に集約する。

Q 完成時期は。

A 6年度中の完成を目指す。しかし、工事中は駅利用等を止めずに整備を行うため、工事期間が長くなることが想定される。



▲ JR 東浦駅

新規就農者経営発展事業補助金

新しく農業を始める方の機械の取得等の費用を助成する補助金。

Q 5年度との違いとその理由は。

A 国および県の設備投資等に対する補助事業について、新規就農者の

さらなる呼び込みと定着を図るため、新たに本人負担分を一部上乘せ補助し、補助対象事業費の補助率を四分の三から五分の四に拡充する。

狭あい道路の後退用地整備工事

Q 1件当たりの事業費は。

A 3年間の実績平均で、申請数を24件、1件当たりの工事費用を160万円と想定し、事業費を算出。

Q 工事箇所の選定から工事着工までの工程は。

A 幅員4m未満の道路に接して建築する場合は、後退用地指導要綱に基づき、売渡し、寄付、自己管理が選択できる後退用地に関する調査を所有権者等に提出してもらう。

売渡しまたは寄付の場合は、測量、登記等の手続を経て後退用地を取得し、その後舗装や側溝等遅滞なく整備するよう努める。



令和6年度 一般会計予算 賛否討論

※要約してあります

定例会最終日に、令和6年度一般会計予算の内容について、6会派が賛成・反対の討論を行いました。その主な内容を紹介します。



賛成

新町長初めての予算化、住民に寄り添った事業展開を評価

親和会 山下享司議員

町長政策ロードマップを軸にして、予算化され、第6次総合計画の実現を目指し、町長の思いも予算編成に反映された。過去に例のない「21」の新規事業が計上され、その一つの粗大ごみのリユースを促進する事業は知多管内では初の取り組みである。町運行バス「う・ら・ら」ダイヤ改正では新規予定の名鉄巽ヶ丘駅・知北平和公園への乗り入れ、带状疱疹ワクチン接種費用の助成、子ども医療費助成の対象年齢を18歳まで拡大、新年度内完了を目指す東浦駅西側駅前広場の再整備等、元氣な町への事業が展開されている事を評価する。



賛成

住民との合意形成を図った持続可能な行財政運営を

公明党東浦 秋葉富士子議員

令和6年度の一般会計予算は、第6次東浦町総合計画に基づいた事業が計画され、町長政策指針も反映されている。具体的には「18歳まで対象拡大の子ども医療助成事業」「50歳以上の带状疱疹ワクチン接種費用助成」「受験生等のインフルエンザ予防接種費用助成」「ペットボトルの水平リサイクル回収」「公共施設再編モデル事業」「町公式「ZiM機能拡充」オリジナル命名書交付」等である。これらの事業は、町長政策指針実現に向けた積極的姿勢が現れており、さらに公明党東浦が要望、推進したもあり、評価する。



賛成

新町長の思い描く政策集に掲げた予算編成

清流会 三浦雄二議員

本予算は、181億6100万円を過去最大の予算額であり、第6次東浦町総合計画の実現を目指し、新町長の思い描く将来の姿を政策集に掲げた予算編成となっている。於大公園再整備事業、東浦駅西側駅前整備工事による歳出増を企業収益の回復、給与収入の増加に伴う町民税の増収等で賄う等、継続事業にも配慮しつつ、長年要望のあった町運行バス「う・ら・ら」の名鉄巽ヶ丘駅・知北平和公園への乗り入れや、子ども医療費助成の対象年齢を18歳までに拡大、带状疱疹ワクチン接種費用の助成等、住民に寄り添った予算であり賛成討論とする。

「ほごよう東浦町」への

発展を期待

庶民倶楽部 山田眞悟議員

日高新町長、初の一般会計予算は最高額となった。子ども医療費助成の対象年齢18歳まで拡大は大歓迎する。本予算では、広報ひがしうらの全戸配布とコミュニティ会員拡大の展望が見出せないままにとどまっている。現状の広報配布は、約40%未配布で、コミュニティへの加入減少と地域組織・隣組組織解体への道に引き込むことになる。

連絡所長とコミュニティ会長での一体運営は、人口5万人の自治体では時代遅れで行政運営の障害になっている。連絡所とコミュニティ組織の切り離し運営を望み賛成討論とする。



賛成

日高町長カラーが明確に示された積極的予算案を高く評価する。

町民ファーストの会 長坂知泰議員

本予算での注目すべき点は歳出予算である。歳出合計は181億6100万円、令和5年度の当初予算額に比べ10億400万円、5.9%の増加。これを性質別にみると、そのうちの約半分の5億1700万円が投資的経費に投入されており前年度対比30%増と最も高くなっている。また新規事業も前年度7件であったものが6年度は21件を掲げており、しかも町民への心遣いのある「オリジナル命名書の交付」や、その他「ペットボトルの水平リサイクル」「带状疱疹ワクチン費用助成」等日高町長のカラーが明確に示された積極的な予算案を高く評価する。



反対

住民のいのちと暮らしを守る地方自治体の役割を求める

日本共産党ひがしうら 杉下久仁子議員

反対の理由は税金の使い方、財源の集め方に疑義があるためである。当初予算に対し実際の町の収入は170億9600万円、足りない部分を財政調整基金等の取り崩し、町債の発行で賄うとしている。財源の確保に苦労するとして6年度中に公共施設の使用料等の値上げを検討する考えを示した。財源不足を言われる中、企業立地交付金で1企業へ1億1922万円支払っている等、疑義がある。「住民のいのちと暮らしを守る」という地方自治体の役割を果たせるよう町民への支援はどうかと考えると今の情勢では特に賛同できない。